

- 12 トラック競技のタイムレースで、出場者が7人以内になった場合は1レースで実施する。
- 13 男子・女子走幅跳は、A・Bピットの同時進行で実施する。
- 14 三段跳の踏切板の位置は、原則として砂場から男子11m、女子9mとするが最終的には跳躍審判長が決定する。
- 15 競技用具は主催者が用意したものを使用すること。ただし、棒高跳のポール以外の個人所有の用器具の使用希望者は、競技開始1時間前までに検査申請書(検査場所に配置)を提出し係員の検査を受けること。その場合、合格したものは、主催者が預かり、出場者全員が使用できるものとする。
検査場所は用器具庫1(第4ゲート横)で行う。競技終了後、同場所で返却する。
- 16 滑り止め(炭マグ)は主催者が準備したものを使用する。不足する場合は各自で準備すること。
- 17 バーの上げ方は次のとおりとする。(天候などにより変更することがある)
走高跳:男子 1m65から2m00までは5cmきざみ。その後は3cmきざみ。
女子 1m35から1m55までは5cmきざみ。その後は3cmきざみ。
棒高跳:男子 2m00から3m60までは20cmきざみ。その後は10cmきざみ。
女子 1m80から10cmきざみ。
- 18 補助陸上競技場での練習は13時30分から20時までとする。尚、本競技場での練習はできません。
補助陸上競技場は、1・2レーン中は・長距離練習、3~5レーンはスタート練習、6~8レーンはハードル練習とする。
ハードルの設置は、スタートから3台目までとする。
- 19 補助陸上競技場でのやり投の投てき練習は、つきさしと助走練習のみとする。また、ハンマー投、円盤投の投てき練習は、ちよる広場で実施する。いずれも競技役員の指示に従い、安全には十分注意して行うこと。
- 20 携帯電話・スマートウォッチ、その他通信が可能な機器や、ラジオ・CD・タブレット端末等、遊興機器の競技場内への持込みを禁止する。
- 21 競技中に発生した傷病については本部で応急処置は行うが、その後は本人の責任において処置すること。
- 22 芝生内での水分補給は「水」のみとする。スポーツドリンク等は持ち込まないこと。
- 23 競技者が走行・歩行不能(即ち歩いたり、立ち止まったり、倒れた状態)となった場合、本人がなお競技続行の意思を示しても審判長(または権限を委譲された審判員)が中止を命じた時は、直ちに競技を中止しなければならない。
- 24 メインスタンド1階への選手の出入りは、第1・4ゲートの出入口を利用すること。(正面玄関からの出入りは禁止)
- 25 雨天走路の利用は一方通行(東から西)とする。又、競技開始時刻後の出入りは北側出入口のみとする。
- 26 競技終了後は、ダッグアウトを通過して第1ゲートから退場すること。
- 27 競技場周辺のジョギング・ウォーキングコースは、市民の方も利用されますので練習は禁止する。
- 28 勝手に壁、扉等にテープや押しピン等での張り紙は禁止する。
- 29 本大会における場内での応援及び撮影等について
 - ・カメラ類の持込み及び撮影は禁止する。但し、スマートフォンやタブレットによる撮影は規制対象外とする。
 - ・スタンド最前列(コーチ席を除く)での撮影(スマートフォン・タブレット)は禁止する。
 - ・スタンド最前列での立っての観覧・応援及び車いすエリアでの観覧・応援は禁止する。

本日の記録速報サイトのQRコード

<https://yaaf.jp/mob>

正式記録は後日山口陸上競技協会のHPに掲載します。

<https://yaaf.jp>

